



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

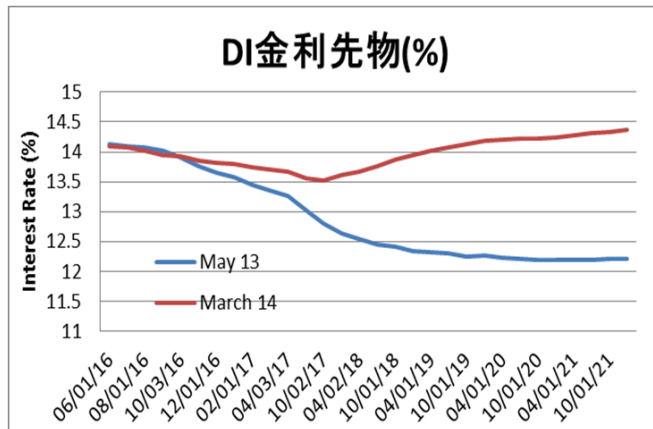
			5月9日	5月10日	5月11日	5月12日	5月13日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.5160	3.4760	3.4510	3.4830	3.5330	+0.0500
	BRL/JPY	Spot	30.80	31.45	31.42	31.30	30.75	-0.55
	EUR/USD	Spot	1.1381	1.1371	1.1426	1.1374	1.1309	-0.0065
	USD/JPY	Spot	108.35	109.27	108.42	109.01	108.63	-0.38
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.90	13.84	13.77	13.73	13.78	+0.0525
	Future	1Year(p.a.)	13.34	13.25	13.19	13.12	13.16	+0.0459
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.346	2.284	2.147	2.209	2.245	+0.036
	USD	1Year(p.a.)	2.670	2.552	2.406	2.362	2.365	+0.003
株式	Bovespa指数		50.990.07	53.070.91	52.764.46	53.241.32	51.804.31	-1.437.01
CDS	CDS Brazil 5y		347.55	337.12	326.91	326.60	328.78	+2.18
商品	CRB指数		177.035	180.281	183.335	183.646	182.548	-1.099

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルはルセフ大統領弾劾手続きを巡って、3.5000を挟んで小幅に上下する展開となった。
- 週初めのレアルは3.4960で寄り付いた後、リスクオフモードにつられてじりじりと下値を拡大、クーニャ下院議長の職務停止に伴って代行議長となったマラニョン氏が、4月17日に採決された下院弾劾投票が無効であるとして上院に審議差し戻しを求めたことが報じられるとレアルは週間安値となる3.6700まで急落した。しかし翌日にマラニョン代行が前日の差し戻し要請を撤回すると、レアルは3.48台前半まで回復した。週中には上院においてルセフ大統領弾劾投票が漸く終了、賛成55、反対22、棄権1、欠席2でルセフ大統領の職務停止が可決されると、レアルは週間高値となる3.4440を付けたが、伯中銀によるドル買い介入の実施を受けてレアルは小緩み、結局3.5330でクローズした。
- 中銀公表のアナリスト予想調査では、2016年の経済成長率予想が-3.89%から-3.86%に、2017年予想は+0.40%から+0.50%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は6.94%から7.00%に上方修正された。2016年末の予想為替レートは3.72から3.70にレアル高方向へ修正された。
- テメル暫定大統領は昨日の夕方に開催された就任セレモニーで国民に対する初の演説を行い、ブラジルの信頼回復を目指すこと述べたほか、国民に対し結束を呼び掛けた。また、メイレス元ブラジル中銀総裁を財務相に指名する等、幾つかの閣僚任命を行った。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

ルセフ大統領弾劾手続きが開始されて以来、金利大幅下落

ルセフ大統領の弾劾審議継続が上院で可決されたことを受け、レアル高が急速に進行した。レアル高を背景に今後インフレ圧力が弱まるとの見方から、中長期の先物金利が大きく低下した。また、テメル暫定政権化の金融政策に注目が集まっており、中銀総裁ポストには市場の人気が高いイタウ銀行のチーフエコノミスト、ゴールドファン氏が有力視されている。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・リアル相場レンジ：3.40－3.65

来週は国内ではテメル暫定政権の全般的な動きに注目が集まる。12日の就任セレモニーでテメル氏は財務相としてメイレレス氏を任命。景気回復が最も重要な課題とされる中、メイレレス財務相はブラジルの税率が既に高い水準にあるため、仮に増税が必要となった場合でも一時的なものになるだろうとコメント、政府負債を抑制しながら財政再建に取り組む旨も表明した。また、新政府はペトロブラスや国営銀行の経営効率を高め、市場の評価を改善する為にマネジメントの体制変更に踏み切る方針を示したことから、今後市場は大きく反応する可能性がある。経済指標の発表については国内ではインフレ率や貿易収支が注目される。海外では米消費者物価指数や鉱工業生産が注目されるほか、米FOMC議事録の発表も控えており、米利上げペースについて言及されるかどうかで相場が大きく動く可能性もある。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	経済活動(前月比)	-0.10%	-0.36%	-0.33%
ブラジル	経済活動(前年比)	-5.90%	-6.31%	-4.69%
米	小売売上高速報(前月比)	0.8%	1.3%	-0.3%
米	PPI 最終需要(前月比)	0.3%	0.2%	-0.1%
米	PPI (除食品・エネルギー、前月比)	0.1%	0.1%	-0.1%
米	PPI除食品・エネルギー・貿易(前月比)	0.1%	0.3%	0.0%
米	ミシガン大学消費者マインド	89.5	95.8	89.0

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/9	FGV CPI IPC-S	May 15	--	0.64%
ブラジル	5/9	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	May	--	0.40%
ブラジル	5/10	貿易収支(週次)	May 15	--	\$1233m
ブラジル	5/10	CNI産業信頼感	May	--	36.2
ブラジル	5/11	税收	Apr	--	95779m
ブラジル	5/11	登録雇用創出合計	Apr	--	-11877600.0%
米	5/11	住宅着工件数	Apr	1125k	1089k
米	5/12	消費者物価指数(前年比)	Apr	1.1%	0.9%
米	5/12	鉱工業生産(前月比)	Apr	0.3%	-0.6%
ブラジル	5/13	FIPE CPI-週次	May 15	--	0.38%
ブラジル	5/13	IGP-M Inflation 2nd Preview	May	--	0.30%
米	5/13	新規失業保険申請件数	May 14	275k	294k
ブラジル	5/13	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	May	0.74%	0.51%
ブラジル	5/13	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	May	9.50%	9.34%
米	5/13	中古住宅販売件数	Apr	5.39m	5.33m

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。